

20270731 市民部会 次回公開講座に関するメモ（松沢孝晋）

7/31 市民部会での協議について

- ・ 流域視点は第4回・第5回で取り上げていることから、今回のテーマを農業に絞っています。これでよいのかどうか意見ををお願いします。ここ2回の公開講座のテーマは、流域目線という俯瞰的目線で展開してきています。今回のテーマ案はピンポイント的になることが気になっています。
- ・ このテーマに適した話題提供者・講演者について。松沢はほとんどネットワークがないので、意見・提案等をお願いします。話題が多くなってしまっているため、絞り込むことが必要かもしれません。
- ・ あくまで松沢私案として出しています。メモレベル（叩き案）であることから、内容の適不適・良し悪しも含め、率直な意見ををお願いします。

公開講座テーマ案：“資源の循環” から農を考える

- 第1回がプラスチックごみ問題、第2回が農業問題、第3回が海の問題、第4回が流域の問題、第5回が水管理・水循環がテーマ。第6回は「循環」をベースとして、農業に絞ったテーマがよいのではないかと思う。
- 農業（*特に水田耕作）を軸に、農業の現状と課題、食の安全に関する課題や活動、農業の未来などをテーマに講演とディスカッションで展開していくなど。
- 農につながる山・川への問題や要望等を提起し、次々回講座へとつなげる。

1：「循環」、「農」に関するワード出しとカテゴリー分け

頭に浮んだ農業に関する問題、課題、展望などを列記し、そのメモをカテゴリー区分してみた。会議では、農に関するワード出しを行い、公開講座で提示すべきメニューを検討したい。

■農に関連する施策等

- ・ みどりの食料システム戦略
- ・ 第六次環境基本計画
- ・ 流域総合水管理

■大規模圃場整備と生物多様性

- ・ 大規模圃場整備と生物多様性
- ・ 大規模圃場整備と水の循環と生物多様性
- ・ 大規模圃場整備の長所と短所
- ・ 水田は年間の半分は乾いている
- ・ 水田と生物
- ・ 現代の水田は生物多様性に寄与しているのか？

- ・ 水田の生物減少とその要因

■農薬問題

- ・ 化学肥料、化学農薬の問題
- ・ みどりの食料システム戦略
- ・ 土と農業
- ・ 水と農業
- ・ 水田の生物減少とその要因
- ・ 食の安全
- ・ 有機農業

■休耕田問題

- ・ ソーラーパネル問題
- ・ 休耕田湿地にどんどんソーラーパネルが設置されていること
- ・ 水田の生物減少とその要因

■農業の現状など

- ・ 農業のスマート化
- ・ 日本の食料自給率問題
- ・ 食の安全への活動、取り組み
- ・ 第一次産業を支える都市の役割

■未来農業への期待

- ・ 楽しい「田んぼ遊び」 生き物・生命の学びの空間
- ・ 農業のスマート化
- ・ みどりの食料システム戦略
- ・ 有機農業
- ・ 食の安全への活動、取り組み

■循環、資源など

- ・ 森は土と水をつくる、水田は土と水を使い米をつくる、海は土と水を使い海産物をつくる
- ・ 日本は資源豊かな国 水と土、温暖湿潤な気候
- ・ 循環のキーとなるグリーンインフラについて
- ・ 日本庭園とは何か 日本人は敷地の中に「山・川・里・海」を造った
- ・ 日本の風景を守る・創る・伝える 美しい水田の風景 美しい川の風景 美しい山の風景
- ・ 日本の資源を守る・育てる第一次産業

2：公開講座の流れなど（松沢案）

- ① 今回の公開講座の趣旨 今なぜ“農業”なのか？
- ② 農業に関する問題・課題など
- ③ 未来につながる活動・取り組み
- ④ 農業と流域のつながり・課題など

■①今回の公開講座の趣旨 今なぜ“農業”なのか？

- 講座のプロローグの位置づけ。公開講座で農業を取り上げた背景や意味などを説明する。
- 講座の「起」の位置づけ。
 - ・ 日本の食料自給率
 - ・ みどりの食料システム戦略など農業に関連する国の施策、方針
 - ・ 矢作川流域の農業の現状と課題

■②農業に関する問題・課題など

- 講座の「承」の位置づけ。具体的な農業の課題や問題点を説明する。
- 農業従事者、研究者等による講演形式
 - ・ 水田の問題・課題
 - ・ 休耕田の問題・課題
 - ・ 化学肥料、化学農薬の現状・課題
 - ・ 有機農業の現状・課題
 - ・ 水田と生物多様性の現状・課題

■③未来につながる活動・取り組み

- 講座の「承・結」の位置づけ。これからの農業につながる活動や取り組みを説明する。
- 活動者、農業従事者等による講演形式
 - ・ 食の安全への活動、取り組み
 - ・ 自然と共生した田んぼづくり
 - ・ 後継者育成への取り組み
 - ・ 有機農業への取り組みと展開
 - ・ 農業のスマート化への取り組み
 - ・ 第一次産業を支える都市の役割と行動

■④農業と流域のつながり・課題など

- 講座の「結」の位置づけ。流域連携の必要性の示唆、問題提起。
- 次の公開講座への誘い。
- ディスカッション形式
 - ・ 流域総合水管理と農業
 - ・ 農業と流域連携
 - ・ 未来に残すべき風景と農業
 - ・ 流域治水における農地の役割、課題
 - ・ 農業を育てる森林と川の役割